

平成30年3月24日（土）に、文京キャンパスにおいて、平成29年度定時評議員会が開催され、「平成30年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。
平成30年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

I. 事業計画

◆平成30年度事業計画策定について

はじめに

創立120周年（2020年）に向けて本学の向かうべき大学教育全体の将来像として「拓殖大学教育ルネサンス2020—グランドデザイン—」を策定し、教職員一丸となって教育改革を推進しているところですが、これをより一層推進するため、また、18歳以下の人口減少が加速し大学を取り巻く環境はますます厳しい状況にある中で、予算編成に当たっては費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額（平成29年度）のマイナス2%を目途に策定しました。なお、引き続き八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実、学生募集対応、就職支援対応等についても優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「平成30年度事業概要」に示すとおりです。

平成30年度事業方針について（理事長）

1. 法人運営の基本方針

(1) 時代認識

21世紀に入り、早17年が経過した。この間、国際社会は経済などのグローバル化が進展するなか、領土や宗教・歴史問題などによる地域紛争や対立が増殖し、世界の平和と安全に不安を与えている。

一方、国内に目を転ずれば、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け気運が高まりつつあるも、少子高齢化社会の中で活力ある経済や企業活動、グローバル化への対応、地域社会の振興など、わが国の将来に係わる喫緊の重要課題が山積している。

また、大学を取り巻く環境においても、国内の18歳人口は2018年以降に減少傾向が加速し、2031年からは100万人を下回る見通しである。この様な状況下で、文部科学省の入学者数の抑制政策により大学はこれまで経験したことのない厳しい時代を迎えることとなった。

(2) 大学の社会的責任と本学の使命

わが国は、いわゆる「少子高齢化社会」に伴う諸問題を抱えるなか、加速するグローバル化への対応が遅れていると言われている。わが国には明治維新（1868年）以来、アジアの国々に先駆け西洋先進国に学び、今日の「近代社会」を構築してきた歴史がある。そして、その担い手となった人材を養成してきたのが、高等教育機関としての「大学」である。

今日、日本の大学はこの歴史に学び、そのポテンシャルを発揮して、わが国の抱える諸問題の解決に積極的に取り組み、明るい未来社会構築の担い手となる公共心に富んだ人材を育成する社会的責任を課せられている。

このような時代にあって、本学は1900年に台湾協会学校として創立され、これまで海外で活躍できる人材、現地の人々と共に汗を流し、地域の福祉と発展に貢献できる「拓殖人材」を輩出してきた。本学関係者はその今日の存在価値と使命の再確認と意識向上を醸成し、その具体的教育事業を展開しなければならない。

(3) 本執行部の取り組むべき課題

2000年の創立100周年以来取り組んできた「拓殖大学ルネサンス事業」としての文京キャンパス整備事業も2016年3月末で完了した。

私達執行部は、この「時代認識」と「大学の社会的責任と本学の使命」に基づき、新たに「拓殖大学教育ルネサンス2020推進本部」を立ち上げ、3年後の創立120周年に向けて「教育ルネサンスグランドデザイン」に基づく教学改革及び「拓殖人材育成広報プロジェクト」と「国際協力研究機構」の充実を推進して、本学および本法人の未来構築をはからなければならない。そのためには、何よりもその裏付けとなる財政基盤の確立と充実が不可欠である。本年4月より開始した「オレンジ募金」はその一助となるものであり、全学的にその推進を計る。

既に進行している文部科学省による入学者数の抑制政策並びにこの度新たに通達のあった「原則として東京23

区内の収容定員増は認めない」との方針は、大学は勿論のこと、法人全体の存続発展に係わる重要な経営課題であり、引き続き「中期財政計画策定本部会議」を中心に更なる検討を進め、財政基盤の充実をはかる。

2. 平成30年度予算編成にあたって

(1) 基本的考え方

- ① 本法人の現在保有している限られた資産（人的財産・歴史的財産・土地・建物）を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- ② 予算編成にあたっては、文部科学省による入学者数の抑制強化や、消費税増税による影響等を充分勘案し、今後一層財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定することとする。特に大学においては2018年以後の更なる18歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努めることとする。
- ③ 諸事業の取り組みにあたっては、特に入口となる学生募集力と出口である就職力をあげるために、その基となる教育の質と研究力の向上、及び学生生活の充実等の強化に繋がるように十分配慮し策定することとする。
- ④ 平成30年度事業計画（予算）は、教育・研究関連事業への重点配分を原則とするが、事業内容についてはPDCAサイクルを踏まえ徹底した見直しを図り、新規・継続事業の区別無く総合的に比較検討し策定することとする。
- ⑤ 事務局各部長は、所属各課の平成28年度決算結果及び平成29年9月までの事業評価を総括し、平成30年度事業計画（予算）策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
 - (1) 新規事業については、重点施策に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請すること。
 - (2) 継続事業（経常的支出）については、平成29年度当初予算額の2%削減を目標とする。
尚、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努めること。

(2) 重点施策事項

2015年4月のキャンパス再編成後の将来構想を策定するため、新たに「拓殖大学教育ルネサンス2020推進本部」を立ち上げ、2020年に向けての改革・改善実現のため「2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT」がスタートした。また、今後の財政の安定化を図ることを前提とする「中期財政計画策定本部会議」を設置し、「財政部会」・「事務職員人事関係部会」・「八王子国際キャンパス部会」を中心に、中・長期的な管理運営に取り組んでいる。

平成30年度は以下の事項を重点施策とする。

① 中期財政計画の策定

18歳人口の更なる減少を踏まえた、平成30年度以降の収入予測の策定と4か年ごとの財政見通しの確立と諸施策の検討

② 八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実

- (1) 八王子国際キャンパスにおける3学部（外国語学部・工学部・国際学部）の教育連携と施設の充実ならびに平成32年度の新学科開設等の準備
- (2) 工学部の産学連携による活性化
- (3) 近隣高等学校との高大接続・連携の促進
- (4) 体育学生の教育支援と強化充実ならびに施設の整備
- (5) 八王子市及び多摩地区などとの地域連携

③ 大学に学ぶ志の高い学生の確保の観点から、入試広報、大学広報を積極的に展開する。

④ グローバル人材育成強化（外国人留学生関連も含む。）の各業務の充実強化と新たな施策を展開する。

⑤ 就職に強い大学を目指し、従来の業務強化に加え、キャリア教育、企業開拓等の強化充実を図る。

⑥ 課外活動における学生の自主的諸活動の支援を図り、本学学生の規律と連帯感ならびに進取の気概を醸成する。

⑦ 手厚く充実した学生教育を展開し、留年者や途中退学者の減少を図る。

⑧ 公益財団法人「大学基準協会」の認証評価の結果を踏まえ、引続き全学的に改革・改善に取り組む。

⑨ 北海道短期大学については、地域との連携を強化し、更なる教育の充実及び学生募集力の向上を図る。

⑩ 第一高等学校については、更なる教育の充実を図るとともに生徒募集力を高める。また、高大連携を進めるためにも従来以上に法人との連携を深め、その向上発展を図る。

◆平成30年度事業概要

平成30年度の主な事業は、以下のとおりとなっています。

1. 拓殖大学教育ルネサンス2020

◎八王子国際キャンパス整備事業

- ①八王子C館外壁塗装・補修工事
- ②八王子C館101・201教室の机・椅子更新
- ③八王子C館・D館女子トイレ改修工事
- ④八王子図書館・工学部棟・実験実習工場照明器具交換
- ⑤八王子工学部棟2～4階内装工事
- ⑥八王子工学部棟ブラインド更新および外窓の定期清掃実施
- ⑦学生交流会館練習・会議棟防水補修工事
- ⑧テニスコート人工芝張替工事
- ⑨野球場人工芝敷設・暗渠工事
- ⑩ラグビー場人工芝張替工事

◎教育ルネサンスプロジェクト

- ①「英語力の強化・向上」、「実践的な職業教育の充実」、「ゼミナール教育の充実と強化」
- ②学部運営経費

◎2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

- ①グローバル人材育成のための国際交流や海外研修、留学生教育の推進強化
(国際交流サロン「オレンジサロン」の充実、国際文化体験 他)
- ②学生生活充実のための支援活動
(東日本復興支援ボランティア活動「釜石よいさ」、スポーツボランティア育成 他)
- ③就職活動やキャリア教育に関するサポート活動
(「社会人基礎力」の育成を意識したイベントの開催、企業向けオープンキャンパスの実施 他)
- ④スポーツ振興の推進～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～
(スポーツオープンキャンパスの実施、スポーツフォーラムの開催 他)
- ⑤女子学生満足度向上のための諸活動
(OMOTENASHI T-girls シーズンイベントの開催、学生による高校「母校」訪問他)
- ⑥地域連携・防災推進～文京キャンパス～
(文京区ホストタウンへの協力、防災体験教室の開催)
- ⑦地域連携・防災推進～八王子国際キャンパス～
(八王子市との防災プロジェクト、小中学生対象の理科教室 他)

◎その他

- ①地域連携センターの開設
- ②学生の学修時間・学修成果等の学修行動の実態把握調査の実施
- ③学外組織との連携による「アクティブ・ラーニング」を取り入れた授業科目の開講
- ④TOEICオンライン学習プログラムの導入
- ⑤文京C館大教室、200人教室、PC教室、CALL教室のマルチメディア設備更新
- ⑥授業管理用ソフトウェア更新 Windows10 対応
- ⑦八王子A館教室AV機器更新・AV卓のICカード化
- ⑧八王子CALL教室のWindows10 統一化
- ⑨LMS (Blackboard) のハードウェア更新
- ⑩八王子工学部棟PC教室2 マイク設備設置、パソコンデスク・メッシュチェア更新
- ⑪八王子工学部棟材料試験室引張り試験機更新
- ⑫八王子工学部棟講義室1、D館305・306教室プロジェクタ設置
- ⑬八王子実験実習工場3Dプリンタ更新
- ⑭工学部ネットワーク機器及びプロキシサーバ更新

2. 学生支援関連

- ①学生証のICカード化
- ②証明書自動発行機システム更新
- ③デジタルサイネージ（電子掲示板）設備の導入
- ④就職システム更新
- ⑤八王子A館合同セミナー室AV機器設置
- ⑥麗澤会館90周年記念ホールプロジェクター更新
- ⑦麗澤会館エレベーター制御部品交換工事
- ⑧野球場室内練習場照明のLEDライトへの交換
- ⑨北海道研修所 体育館屋根塗装工事

3. その他の施設・設備関連

- ①文京設備維持管理（入退室監視装置、空調設備用自動制御機器 他）
- ②文京G館防火シャッター及び防火扉交換他工事
- ③八王子中央監視システム更新
- ④八王子電気設備修繕工事（工学部棟、実験実習工場、八王子図書館、管理研究棟）
- ⑤八王子管理研究棟非常用自家発電機修繕

4. 設置校・その他

◎拓殖大学

- ①ホームカミングデーの実施
- ②多言語版ホームページ更新
- ③事務システム用バックアップサーバ更新
- ④文系教員研究室PC更新
- ⑤事務職員用PC更新
- ⑥創立120周年に向けた各種広報活動の展開
- ⑦「後藤新平・新渡戸稲造記念 拓殖大学高校生・留学生作文コンクール20周年記念作品集」の制作

◎北海道短期大学

- ①紫外可視分光光度計更新
- ②農場大型ビニールハウス更新

◎第一高等学校

- ①創立70周年記念事業関係経費
- ②英語ディスカッションプログラムの導入
- ③学校紹介DVDの制作
- ④カフェテリア厨房機器更新
- ⑤校舎棟等加圧ポンプ制御盤更新